

経済学・経済政策

令和5年度 中小企業診断士1次試験

本試験 第4問

国民経済計算において GDP に含まれる要素として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a 農家の自家消費 (○)
- b 持ち家の帰属家賃 (○)

本試験 第6問

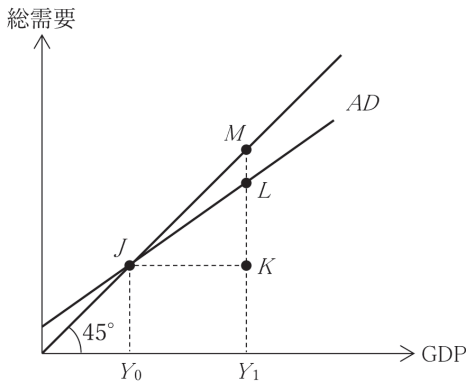
内閣府の景気動向指数における一致系列の経済指標として、最も適切なものはどれか。

- ウ 東証株価指数 (×)

本試験 第7問

下図は、45度線図である。この図において、総需要は $AD = C + I$ (ただし、 AD は総需要、 C は消費支出、 I は投資支出)、消費関数は $C = C_0 + cY$ (ただし、 C_0 は基礎消費、 c は限界消費性向 ($0 < c < 1$)、 Y は GDP) によって表されるとする。

この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



- b 投資支出が LM だけ増加するとき、投資支出乗数の大きさは $\frac{LM}{KM}$ である。(○)

2023年合格目標 TAC教材

1次完成答練①第1問

オ 最終消費支出には、農家における農産物の自家消費や持ち家に係る住宅賃料である帰属家賃は含まれない。(×)

1次完成答練②第9問

景気動向指数にはデフュージョン・インデックス (DI) とコンボジット・インデックス (CI) がある。景気動向指数に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

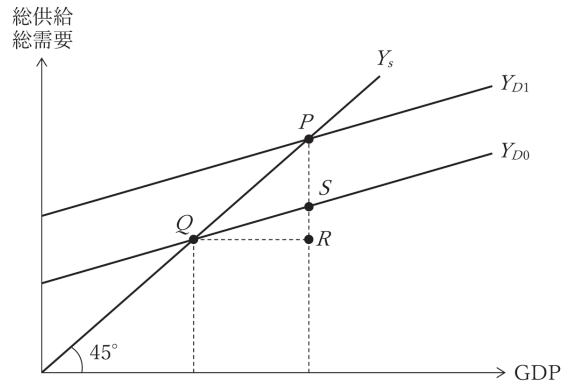
- a 東証株価指数、労働投入量指数 (調査産業計) はともに一致系列である。(×)

1次公開模試第5問

下図は、家計、企業、政府、外国から構成される生産物市場の均衡を表す 45度線図である。各々の記号は、 Y_s : 総供給、 Y_D : 総需要、 C : 消費、 C_0 : 独立消費、 c : 限界消費性向 ($0 < c < 1$)、 Y : GDP、 T : 租税、 I : 投資、 I_0 : 独立投資、 G : 政府支出、 X : 輸出、 M : 輸入、 M_0 : 独立輸入、 m : 限界輸入性向 ($c > m$) である。

総供給 $Y_s = Y$
 総需要 $Y_D = C + I + G + X - M$
 消費関数 $C = C_0 + c(Y - T)$
 投資関数 $I = I_0$
 輸入関数 $M = M_0 + mY$

この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



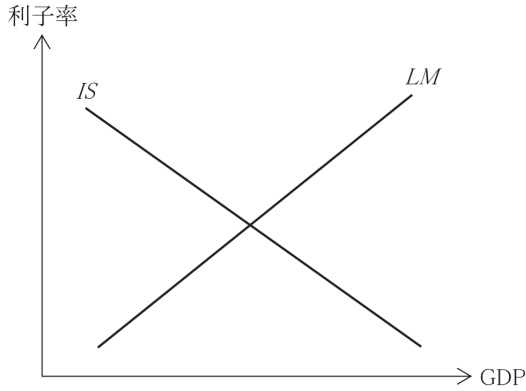
(設問1)

総需要線が Y_{D0} から Y_{D1} にシフトするときの政府支出乗数の大きさを表すものはどれか。

- イ $\frac{PR}{PS}$ (○)

本試験第 8 問

下図は、IS 曲線と LM 曲線を描いている。この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



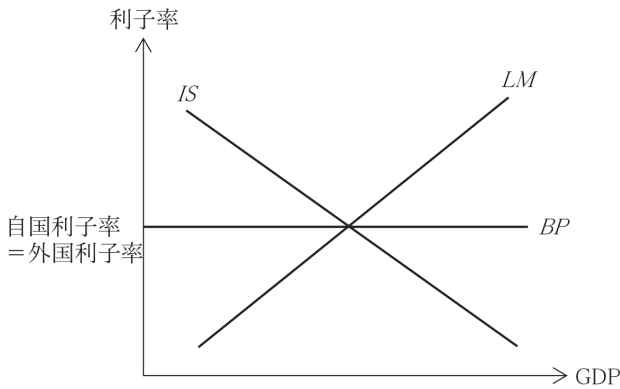
(設問 1)

IS 曲線に関する記述として、最も適切なものはどれか。

- ア 貨幣需要の利子感応度が大きいほど、IS 曲線の傾きはより緩やかになる。(×)
- エ 投資の利子感応度が小さいほど、IS 曲線の傾きはより緩やかになる。(×)

本試験 第 10 問

下図は、開放経済下における小国のマクロ経済モデルを描いている。この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



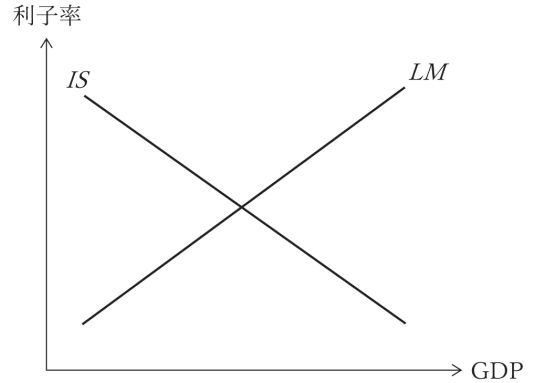
(設問 2)

この国が変動為替レートを採用しているとき、GDP の変化に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

- a 政府支出の増加は、IS 曲線を右方にシフトさせるが、国内通貨高による純輸出の減少によってその効果は相殺され、自国の GDP に影響しない。(○)
- b 政府支出の増加は、国内通貨高を防ぐための名目貨幣供給の増加を伴って、自国の GDP を増加させる。(×)
- c 名目貨幣供給の増加は、LM 曲線を右方にシフトさせるが、国内通貨安を防ぐための名目貨幣供給の減少によってその効果は相殺され、自国の GDP に影響しない。(×)

1 次養成答練第 17 問

財政政策や金融政策の効果を考えるにあたり、IS-LM 分析は重要である。下図のように IS 曲線が右下がり、LM 曲線が右上がりの状況に関して、以下の設問に答えよ。



(設問 1)

IS 曲線および LM 曲線に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

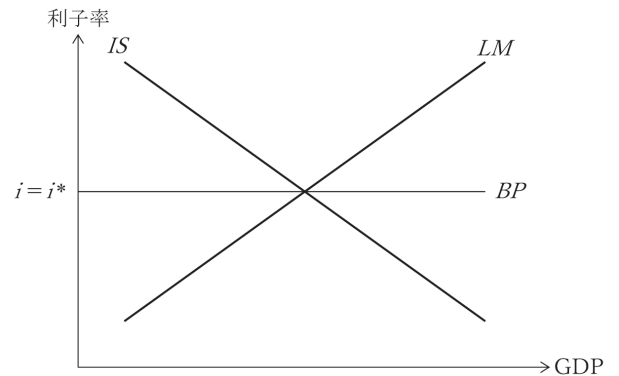
- b 投資の利子率弾性力が大きいほど、IS 曲線の傾きはより緩やかになる。(○)

1 次公開模試第 8 問

下図は、開放経済下におけるマクロ経済モデルを描いたものである。

いま、小国モデル、完全資本移動、変動為替レートを、物価の硬直性、為替レートの静学的な予想を仮定する。下図では、これらの前提に基づき、生産物市場の均衡を示す IS 曲線、貨幣市場の均衡を示す LM 曲線、国内利率 (i) と外国利率 (i^*) の均等化を示す BP 曲線が表されている。

下図の状態からの経済政策の効果に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

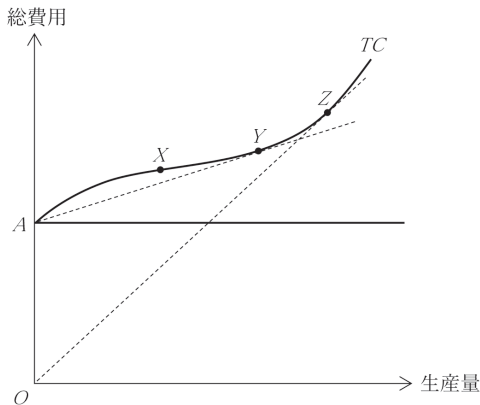


- b 拡張的財政政策は純輸出の増加を通じて、自国の GDP を増加させる。(×)
- d 拡張的金融政策は純輸出の増加を通じて、自国の GDP を増加させる。(○)

本試験第 14 問

下図は企業の短期費用曲線を示し、縦軸の OA が固定費用を表している。ここで、総費用曲線 TC 上の接線のうち、①その傾きが最小となる点を X 、② A を起点とした直線と接する点を Y 、③ O を起点とした直線と接する点を Z とする。

この図から読み取れる記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。



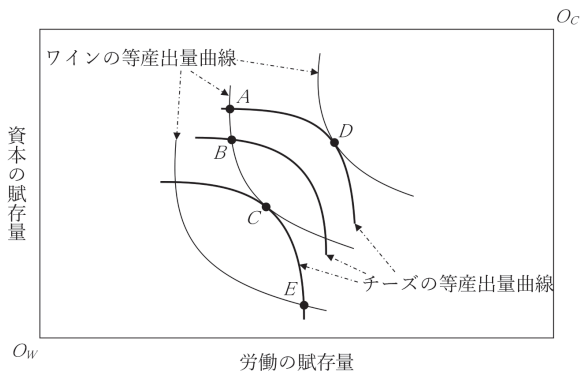
- b 点 Y では平均可変費用が最小になっている。(○)

本試験 第 15 問

ワインとチーズという 2 財を生産するために、2 つの生産要素である資本と労働をどのように配分するかという問題を考える。

縦軸に資本の賦存量、横軸に労働の賦存量をはかった下図では、 O_w がワインを生産するのに両生産要素の投入量がともに 0 の状態、同様に O_c がチーズを生産するのに両生産要素の投入量がともに 0 の状態である。したがって、ボックスの中の任意の点は、これら 2 財の生産に投入される資本と労働の配分パターンを表している。

ワインとチーズの等産出量曲線がそれぞれ図のように示されているとすると、2 財の生産に投入される両生産要素の配分パターンに関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



- a 点 A では、パレート効率が実現している。(×)
c 点 B から点 C への変化は、生産の効率性を改善する。(○)

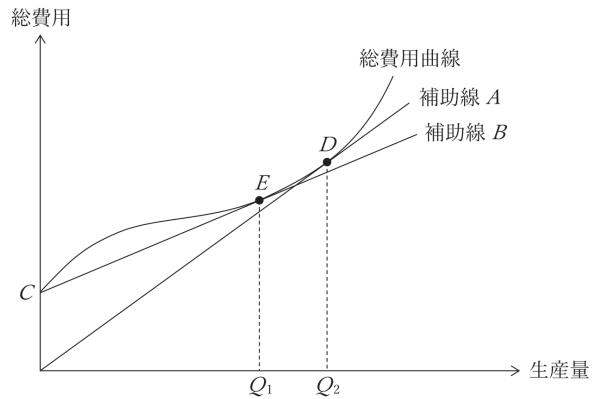
本試験第 18 問

情報の不完全性に起因するモラルハザードを軽減することを主な目的として行われる事例として、最も適切なものはどれか。

- エ 保険会社が、契約者であるドライバーが対物事故を起こした場合に、当該事故に伴う損害費用のうち一定金額を超える部分のみ補償を行う。(○)

1 次上級答練第 1 問

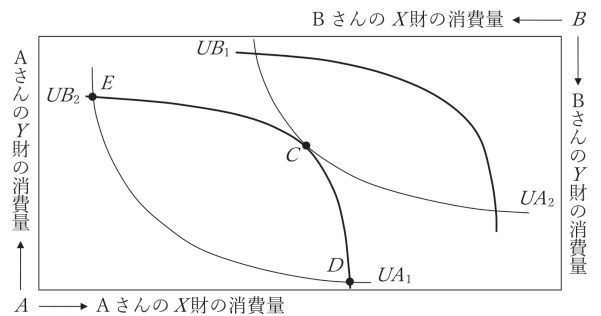
下図には、固定費用 C と可変費用で構成される総費用曲線が描かれている。また、原点から始まり総費用曲線と点 D で接する補助線 A と、固定費用 C から始まり総費用曲線と点 E で接する補助線 B が描かれている。この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



- a 生産量 Q_1 は平均費用が最小となる生産量である。(×)

1 次完成答練②第 24 問

下図は、エッジワースのボックス・ダイアグラムと呼ばれるものである。横軸は X 財の消費量を、縦軸は Y 財の消費量を示している。A さんの両財の消費量は左下の点 A を原点として考え、B さんの両財の消費量は右上の点 B を原点として考える。 UA は A さんの無差別曲線であり、効用水準の大小関係は $UA_1 < UA_2$ である。一方、 UB は B さんの無差別曲線であり、効用水準の大小関係は $UB_1 < UB_2$ である。この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



- c 財の配分を点 D から点 C に変えると、パレート改善する。(○)

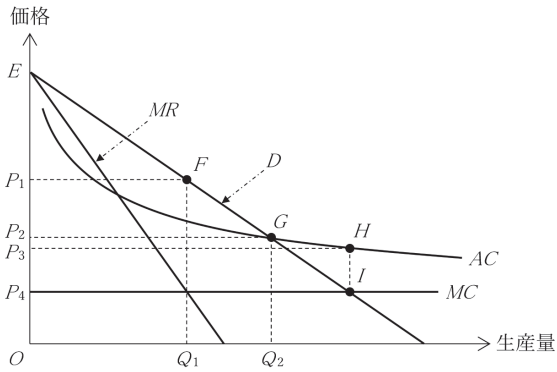
1 次完成答練①第 22 問

情報の非対称性に関する記述として、最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。

- d 自動車保険における免責事項には、保険の契約前に生じるモラルハザードを減らす効果が期待できる。(×)

本試験第 19 問

下図は、ある地域で独占的な地位にある電力会社の平均費用 AC 、限界費用 MC 、限界収入 MR および同地域での電力の需要曲線 D を示している。この図から読み取れる記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



- a 平均費用価格形成原理の下で、この企業の総収入と総費用はともに四角形 P_2OQ_2G で示される。(○)
- b 平均費用価格形成原理の下で、生産者余剰は四角形 P_1P_2GF で示される。(×)
- c 限界費用価格形成原理の下で、消費者余剰は三角形 EP_1F で示される。(×)
- d 限界費用価格形成原理の下で、この企業には四角形 P_3P_4IH に相当する損失が生じる。(○)

本試験 第 22 問

特定の財の市場において競合関係にある企業同士が、同一価格での販売を約束するカルテルを結ぶことは、互いの企業にとって有利となる場合がある。ここで企業 X と企業 Y は、それぞれ一定の販売価格で合意したカルテルを守るか、あるいはそれを破ってより低い価格で販売するかを選択するものとする。

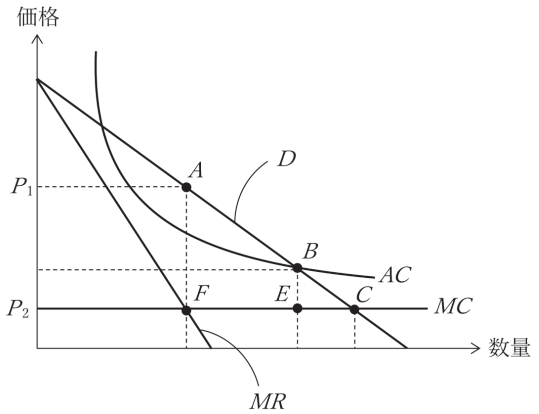
下表は、両企業の利得表であり、カッコ内の左側が企業 X の利得、右側が企業 Y の利得を表している。このゲームに関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

		企業Y	
		カルテルを守る	カルテルを破る
企業X	カルテルを守る	(50, 40)	(-20, 60)
	カルテルを破る	(60, -20)	(0, 0)

- a 企業 X が「カルテルを守る」場合において、企業 Y の最適反応は「カルテルを破る」である。(○)
- b 企業 Y が「カルテルを守る」場合において、企業 X の最適反応は「カルテルを守る」である。(×)
- c このゲームにおけるナッシュ均衡は、企業 X 、企業 Y ともに「カルテルを守る」ケースである。(×)
- d このゲームにおけるナッシュ均衡は、企業 X 、企業 Y ともに「カルテルを破る」ケースである。(○)

1 次公開模試第 19 問

下図は、平均費用が逓減している財の市場で、ある企業による自然独占が発生しているケースを示したものである。図の D は需要曲線、 AC は平均費用曲線、 MC は水平の限界費用曲線、 MR は限界収入曲線である。この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



- a 政府が限界費用価格規制を採用した場合、企業は可変費用に相当する損失が発生するが、社会的総余剰は最大化する。(×)
- b 政府が平均費用価格規制を採用した場合、企業の利潤はゼロとなり、三角形 BEC で示される死荷重が発生する。(○)

1 次完成答練①第 21 問

A 国と B 国間において、「自由貿易」、「保護貿易」のいずれかを選択することができる。表中のカッコ内の左側の数字は A 国の利得、右側は B 国の利得を表している。A 国、B 国ともに選択が、非協力的に 1 回限り行われるとき、下表に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

		B国	
		自由貿易	保護貿易
A国	自由貿易	(40, 40)	(10, 50)
	保護貿易	(50, 10)	(20, 20)

(単位: 兆円)

- 〔解答群〕
- ウ A 国、B 国ともに「保護貿易」を選択することがナッシュ均衡である。(○)
 - オ A 国、B 国ともに最適反応は「自由貿易」を選択することである。(×)